

## 日本赤十字社認定研修医

### 高山赤十字病院 内科後期研修プログラム

#### 1. 研修コース名 高山赤十字病院内科後期研修コース

診療科名 内科・消化器科・循環器科・呼吸器科

#### 2. 研修コースの種別

「日本赤十字社認定臨床医コース」

#### 3. 研修期間

3 年 間

#### 4. 研修コースについて

##### (1) 目的

- ・代表的な内科疾患について、人命を尊重し、安全で良質な全人的医療を提供できる、質の高い総合的診療能力を身につける。
- ・災害医療を理解し、赤十字の医師として、国内で発生する災害や、海外で発生する紛争、自然災害などの救護・救援活動に貢献できる能力を身につける。
- ・認定内科医資格を取得する。

##### (2) 到達目標（目標、長期目標、一般目標、取得手技、コンセプト等）

- ・代表的な内科疾患につき自ら検査計画をたて、正しく診断できる。
- ・代表的な内科疾患につき自ら治療計画をたて、的確に実施できる。
- ・代表的な内科救急疾患の診療を自ら実践できる。
- ・患者中心の全人的医療をチームの一員として実践できる。
- ・安全な医療を実践できる。
- ・認定内科医に必要な症例を経験し、認定内科医資格に足る知識・手技・判断力を身につける。
- ・国内のみならず海外での救急医療、災害医療への対応ができる。
- ・学会発表あるいは論文発表、治験等の臨床研究活動ができる。
- ・初期臨床研修医の指導ができる。

##### (3) 赤十字としての特色

###### ・救急医療

当院には救命救急センターが設置されており、救急外来へ来院する患者は年間約17,000例で、うち約2,400例が入院（救命救急センターに3割・一般病棟へ7割）となっている。また、救急車搬入件数は約2,000例である。したがって、救命救急センター(救急部)では、豊富な症例数に基づき充実した研修を行うことができる。一般診療科で研修中の場合も、救命

救急センターの日当直医等を分担することにより、当院での研修期間中継続して救急医療についての研修を行うことができる。

・災害医療

これまで当院救護班は、神戸震災、新潟中越地震等へ出動した実績がある。研修期間中は、赤十字救護班要員として災害医療研修等へ優先的に出席したり、定期的に災害医療訓練等へ参加することができる。実際に災害等が発生した場合には、優先して災害医療活動に携わることができるよう配慮される。

・国際救援

国際救援に対応する力を養うため、本社等が主催する語学研修、ERU(緊急対応ユニット)基礎・専門研修、国際救援要員養成のための研修会等に優先的に出席できるよう配慮される。

5. 募集人数 3名

6. 取得資格

日本内科学会 認定内科医

7. 研修コースの概要

- ・3年間の研修のうち、前半の1年ないし1年6ヶ月間については、消化器科・循環器科・呼吸器科をそれぞれ4～6ヶ月間ずつローテーションしながら幅広く研修を行う。
- ・3年間の研修のうち、後半の1年6ヶ月ないし2年間については、消化器科・循環器科・呼吸器科から1つを選んで、さらに専門的な研修を行う。
- ・内科一般ならびに救急医療、災害医療等については3年間継続的に研修を行う。

(1) 症例数

主要疾患名	入院数(3年間)	経験目標症例数(3年間)	実施施設名※
胃十二指腸潰瘍	約210例	20例	
肝硬変・肝癌	約230例	20例	
胃癌	約140例	15例	
大腸癌	約130例	15例	
胆石症・胆のう炎	約160例	20例	
急性心筋梗塞	約180例	20例	

心不全	約400例	40例	
肺癌	約90例	10例	
肺炎・気管支炎	約800例	30例	
糖尿病	約400例	50例	
甲状腺疾患	約50例	5例	
慢性腎不全	約80例	10例	
悪性リンパ腫	約90例	10例	
膠原病	約40例	5例	
脳梗塞	約400例	30例	

※他の医療機関で研修する症例のみ、当該医療機関名を記載すること。

## (2) 手術等件数

手術等	手術等件数（3年間）	経験目標件数（3年間）	実施施設名※
上部消化管検査	約7000件	50件	
腹部血管造影	約180件	15件	
下部消化管検査(ポリペクトミーを含む)	約1900例	30例	
心臓カテーテル検査	約3200件	50件	
ペースメーカー植え込み術	約100例	5例	
気管支鏡検査	約180件	30件	
腎生検	約40件	5例	

※他の医療機関で研修する手術等のみ、当該医療機関名を記載すること。

## (3) 赤十字医療施設としてのプログラム

### ・救急医療について

主要疾患名又は手技	入院数又は手技件数(3年間)	経験目標症例数又は件数(3年間)	実施施設名※
冠動脈インターベンション	約1000件	50症例	
内視鏡的止血術	約300件	25症例	
胆道系インターベンション	約310件	25症例	
意識障害	約220例	15例	
呼吸不全	約450例	30例	
薬物中毒	約50例	5症例	
DOA 症例数	約210例	10例	

※他の医療機関で研修を受ける救急医療のみ、当該医療機関名を記載すること。

- ・災害医療について

救護班要員として、月1回の救護班要員連絡会議に出席し、院内で年1～2回行われる救護班訓練に参加する。また、支部あるいはブロック等が主催する訓練・研修会等に参加する。

- ・国際救援について

本社等の主催する語学研修、ERU(緊急対応ユニット)基礎・専門研修、国際救援・開発協力要員養成のための研修会に優先して参加可能である。

- ・資格認定試験等への対応について

内科学会認定内科医資格取得に必要な症例を経験するとともに、学会(地方会、教育講演会等)への参加を義務づける。

- ・その他

医療、介護、福祉の連携を体得し、在宅療養を含めた全人的医療を実践できる能力を身につけるため、当院以外の医療施設(病院、診療所、一般開業医等)、介護保険施設、福祉施設等での研修を行うことができる。